

2008年(平成20年)度  
海自造修整備補給システムの業務・システム  
最適化実施評価報告書

( 2009年(平成21年)8月20日  
防衛省行政情報化推進委員会決定 )

1. 海自造修整備補給システムの業務・システムの概要

項 目	内 容
個別管理組織担当課室名	防衛省海上幕僚監部装備部装備需品課
府省全体管理組織担当室名	防衛省運用企画局情報通信・研究課
対 象 期 間	2008年4月1日～2009年3月31日
最適化工程の段階	企画段階、設計・開発段階、運用段階

2. 最適化実施状況

(1) 企画段階

業務・システムの実施状況

(最適化の実施内容)

最適化計画の改定を行う。

支援業者との契約を行う。

仕様書、要件定義書の作成及び業者選定準備を実施中。

(最適化の実施状況)

2007年(平成19年)3月26日に「海幕補給3システムの業務・システム最適化計画」を策定したが、業務所要増大等への対応のため、海幕補給3システムに関連性が高い、造修整備補給業務及びこれを実施するシステムを加え最適化計画の再検討を実施し、従前の「海幕補給3システムの業務・システム最適化計画」の対象範囲を拡大し、「海自造修整備補給システムの業務・システム最適化計画」として改定した。

・2008年(平成20年)7月28日、第46回業務C10補佐官連絡会議に改定案を報告し、評価を得ることができた。

・2008年(平成20年)8月21日、防衛省行政情報化推進委員会において改定案を決定、公表した。

([http://www.mod.go.jp/j/library/archives/system/hokuyuu\\_saiteki\\_kai.pdf](http://www.mod.go.jp/j/library/archives/system/hokuyuu_saiteki_kai.pdf))

「海自造修整備補給システムの業務・システム最適化計画」についてベリングポイント(株)とE Aドキュメント検証・作成についての契約を行った。

役 務 内 容：現行及び将来体系のE Aドキュメントの完成版作成

契 約 形 態：一般競争入札

契 約 締 結 日：2008年(平成20年)9月30日

契 約 期 間：2008年(平成20年)9月30日～2009年(平成21年)3月27日

契 約 相 手 方：ベリングポイント(株)

契 約 金 額：934万5千円

「海自造修整備補給システムの業務・システム最適化計画」について E A ドキュメントの提出を行った。

「海自造修整備補給システムの業務・システム最適化計画」について総務省支援スタッフ指摘による E A ドキュメント修正作業を実施中。

業者との契約に向けて仕様書、要件定義書の作成及び記載内容等の確認を実施中。

#### 【最適化実施の評価】

課題及び問題とその原因

なし。

対策

なし。

#### (2)設計・開発段階

補給システムの進捗管理の実施

(最適化の実施内容)

設計・開発事業者と共に、進捗状況について、業務・システム最適化指針に基づく E V M を用いて定期的に管理する。

(最適化の実施状況)

- ・ 進捗状況について、業務・システム最適化指針に基づく E V M を用いて、管理している。また、毎月「開発調整会議」を実施し、進捗状況、作業内容等を確認している。
- ・ 2008 年(平成 20 年)7 月及び 11 月技術審査(試験審査)を実施し、合格した。
- ・ 2009 年(平成 21 年)3 月 31 日現在の進捗状況に遅れ等の問題はなく、計画通りに実施している。

#### 【最適化実施の評価】

課題及び問題とその原因

なし。

対策

なし。

補給システム基盤部分の整備

(最適化の実施内容)

設計・開発、各種テスト及び移行作業を行う。

(最適化の実施状況)

- ・ 「設計・開発段階計画書」に基づき、下記により設計・開発、結合テスト、総合テスト、受入テスト及び移行作業を実施した。なお、開発調整会議(P J M O 及び事業者会議：月 1 回及び必要の都度)を開催し、進捗状況を確認している。
- ・ 2008 年(平成 20 年)2 月～7 月 設計を実施した。
- ・ 2008 年(平成 20 年)7 月～2009 年(平成 21 年)2 月 開発、結合テストを実施した。
- ・ 2008 年(平成 20 年)11 月～2009 年(平成 21 年)2 月 総合テスト、受

入テストの一部を実施した。

- ・ 2008年(平成20年)3月～2009年(平成21年)2月 ソフトウェア移行、ネットワーク移行、データ移行を実施した。
- ・ 2009年(平成21年)3月31日現在の進捗状況に遅れ等の問題はなく、計画通りに実施している。

【最適化実施の評価】

課題及び問題とその原因

なし。

対策

なし。

(3)運用段階

補給3システムの実施状況

(最適化の実施内容)

一部運用を開始した。

(最適化の実施状況)

2009年(平成21年)3月～ 補給システムの一部運用を開始した。

【最適化実施の評価】

課題及び問題とその原因

なし。

対策

なし。

3. 最適化の効果の評価

2009年(平成21年)3月から補給システムが一部運用段階に入り、目標値1,012千円に対し1,019千円(実績値)の経費削減効果を得た。

4. 最適化実施の総合評価

海上自衛隊の業務所要増大への対応、任務の多様化・広域化への対応、情報共有態勢の強化、システム構成合理化の強化及び情報セキュリティの強化の観点から、海上自衛隊が実施する後方業務の更なる推進のため、補給3システムに関連性が高い、造修整備補給業務及びこれを実施するシステムを加え再検討を行い、2014年度(平成26年度)以降、経費及び業務処理時間において効果が見込める計画となった。また、最適化計画改定前から最適化を実施している補給3システムについて、2009年(平成21年)3月から一部運用段階に入り、所要の経費削減効果を得た。

5. その他

なし。

6. 添付書類

- ・ 最適化効果指標・サービス指標一覧

最適化効果指標・サービス指標一覧  
(海自造修整備補給システム)

1 最適化効果指標

(1) 最適化共通効果指標

削減経費(単位:千円)

	初年度	2年度目	3年度	4年度目	5年度	6年度目	7年度	8年度目
	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
最適化実施前の経費(a)	2,421,250	2,421,250	2,421,250	2,421,250	2,421,250	2,421,250	2,421,250	2,421,250
最適化実施後の経費(試算値)(b)	-	2,420,238	2,318,826	2,268,346	2,024,371	1,973,448	1,944,636	1,793,649
削減経費(目標値)((a)-(b))	-	1,012	102,424	152,904	396,879	447,802	476,614	627,601
最適化実施後の経費(実績値)(c)	-	2,420,231						
削減経費(実績値)((a)-(c))	-	1,019						

削減経費は、データ・ベースの一元化及びシステムの機能統合による。

削減業務処理時間(単位:時間)

	2006年度	2014年度～			
	最適化実施前の業務処理時間(a)	最適化実施後の業務処理時間(試算値)(b)	削減業務処理時間(目標値)((a)-(b))	最適化実施後の業務処理時間(実績値)(c)	削減業務処理時間(実績値)((a)-(c))
時間	249,566	104,850	144,716		
金額換算(千円) (3,125円/時間)	779,894	327,656	452,238		

(内訳)

ア データ・ベースの一元化

	2006年度	2009年度			
	最適化実施前の業務処理時間(a)	最適化実施後の業務処理時間(試算値)(b)	削減業務処理時間(目標値)((a)-(b))	最適化実施後の業務処理時間(実績値)(c)	削減業務処理時間(実績値)((a)-(c))
時間	50,762	26,273	24,489		
金額換算(千円) (3,125円/時間)	158,631	82,103	76,528		

イ 請求業務における電子承認の実施

	2006年度	2011年度			
	最適化実施前の業務処理時間(a)	最適化実施後の業務処理時間(試算値)(b)	削減業務処理時間(目標値)((a)-(b))	最適化実施後の業務処理時間(実績値)(c)	削減業務処理時間(実績値)((a)-(c))
時間	46,500	23,250	23,250		
金額換算(千円) (3,125円/時間)	145,313	72,656	72,656		

ウ 資材部門におけるサービス能力強化

	2006年度	2011年度			
	最適化実施前の業務処理時間(a)	最適化実施後の業務処理時間(試算値)(b)	削減業務処理時間(目標値)((a)-(b))	最適化実施後の業務処理時間(実績値)(c)	削減業務処理時間(実績値)((a)-(c))
時間	85,083	15,916	69,167		
金額換算(千円) (3,125円/時間)	265,884	49,738	216,147		

工 造修整備の業務処理の効率化

	2006年度	2014年度			
	最適化実施前の業務処理時間 (a)	最適化実施後の業務処理時間(試算値) (b)	削減業務処理時間(目標値) ((a)-(b))	最適化実施後の業務処理時間(実績値) (C)	削減業務処理時間(実績値) ((a)-(c))
時間	62,980	37,995	24,985		
金額換算(千円) (3,125円/時間)	196,813	118,734	78,078		

オ WEB化による情報共有態勢の構築

	2006年度	2014年度			
	最適化実施前の業務処理時間 (a)	最適化実施後の業務処理時間(試算値) (b)	削減業務処理時間(目標値) ((a)-(b))	最適化実施後の業務処理時間(実績値) (C)	削減業務処理時間(実績値) ((a)-(c))
時間	4,241	1,416	2,825		
金額換算(千円) (3,125円/時間)	13,253	4,425	8,828		

(2) 最適化個別効果指標

主要課題	最適化の実施内容	最適化個別効果指標	計算式
業務効率化	請求業務の電子化	請求業務電子化率	「電子承認件数」 / 「総請求件数」 × 100
	資材業務の効率化	標準送達日数遵守率	「標準送達日数内の払出件数」 / 「払出件数」
		在庫回転数	「出庫金額」 / 「在庫金額」
	資料作成の効率化 (造修整備)	資料作成時の電子データ利用率	「電子データ利用件数」 / 「資料作成件数」 × 100

請求業務電子化率（単位：％）

	最適化実施前 2006年度	初年度目 2011年度	2年度目 2012年度	3年度目 2013年度	4年度目 2014年度	5年度目 2015年度
目標値		90.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%
実績値	0%					
算出式						

標準送達日数遵守率（単位：％）

	最適化実施前 2006年度	初年度目 2011年度	2年度目 2012年度	3年度目 2013年度	4年度目 2014年度	5年度目 2015年度
目標値		50.0%	55.0%	60.0%	65.0%	70.0%
実績値	49.3%					
算出式						

在庫回転数

	最適化実施前 2006年度	初年度目 2011年度	2年度目 2012年度	3年度目 2013年度	4年度目 2014年度	5年度目 2015年度
目標値		0.50	0.52	0.56	0.60	0.65
実績値	0.50					
算出式						

資料作成時の電子データ利用率

	最適化実施前 2006年度	初年度目 2011年度	2年度目 2012年度	3年度目 2013年度	4年度目 2014年度	5年度目 2015年度
目標値		-	-	-	0.60	0.65
実績値						
算出式						